

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	国際交流事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	企画政策課			
施策	3-6	国際社会への対応		主管課長	浅水 透			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	・市民 ・外国人住民	意図	・多文化共生社会づくりの推進を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人住民の生活相談業務 ・外国語（英語、韓国語、中国語）通訳業務 ・国際交流活動業務 ・オランダ交流事業 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年「国際理解サポートセンター」を江戸川台駅前庁舎3階に開設 ・平成28年「2020東京オリンピック・パラリンピック」のオランダのホストタウンに登録 ・平成29年オランダ交流事業をスタート ・平成31年4月1日現在の外国人住民2,737人 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	流山市国際交流協会が主催する事業への参加者数	1,531	1,727	1,898	人	↑↑↑	
②	在住外国人生活相談件数	20	28	38	件	→→		
③	オランダ交流事業参加者数		1,554	1,730	人	↑↑↑		
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・平成28年にオランダのホストタウンに登録されたことから、特にオランダに特化した事業を進めている。 ・市内公立小学校（全16校）で6年生を対象に、市内在住のオランダ人を講師に迎え、オランダの基礎知識を学ぶオランダ教室を開催した。 ・また、学校給食でオランダの料理をメニューするオランダ給食を学んだ。 ・市民向けのオランダ料理やオランダ文化を学ぶ講座を開催した。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		6,748,860	8,204,069	8,357,836				
事業費(b)(円)		1,256,860	1,492,069	1,765,836				
うち一般財源			1,352,069	1,342,836				
職員給与費(c)(円)		5,492,000	6,712,000	6,592,000				
人役・職員(人)		0.80	1.00	1.00				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	・庁内業務における外国語通訳の派遣。	③取組における課題(Check)	・増加傾向の外国人住民対応した行政サービスの充実。
②H30に実施した取組(Do)	・健康増進課が行う乳幼児健診時に外国語通訳の派遣を実施した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	・行政情報の多言語化の推進。